



まつかぜ

松之木小だより 児童数：374名

令和8年度

4月号

八潮市緑町三丁目9番地1

☎048-996-1377



「想像力」＝「思いやり」

校長 須賀裕之

春爛漫、優しい風とともに子供達の元気なあいさつが校舎に響いています。本日、4月8日、松之木小学校の令和8年度がスタートしました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学・ご進級、誠にありがとうございます。心よりお慶び申し上げます。令和8年度の松之木小学校は、65名の新1年生を迎え、全校児童374名、全15学級でスタートしました。今年度も、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様の本校への変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

以下に本日の始業式で子供達に話した一部を掲載します。

今日から新しいクラスでの生活、学習がスタートします。新たな先生、友達と一緒に勉強します。通学班やクラブ、委員会、たてわり活動もあるので、年齢の違う仲間と一緒に活動します。様々な人と学習したり、活動したりしますが、その時、皆さんに大切にしてもらいたい「力」があります。それは想像する力、想像力です。校長先生はこの想像力を伸ばしてほしいと願っています。

さて、想像力ってどんな力だと思いますか。想像力は形になっていないものを、自分の頭の中でイメージする力、自分の頭の中で思い描く力です。人の気持ちを想像したり、物語の情景を想像したり、未来の社会を思い描いたりする力です。この想像力を働かせると、例えば、①友達ががんばっているとき、応援したいとき、どんな言葉をかければいいかな。②友達が落ち込んでいるとき、どんな言葉をかければ、励ますことができるかな。などと相手の気持ちを相手の身になって想像すると、温かい言葉や優しい言葉をかけることができます。きっと、友達はうれしくなったり、元気が出たりしますね。だから、想像力は思いやりの力といってもいいかもしれません。皆さん一人一人が思いやりをもって、学習したり、活動したりできると、温かい言葉や優しい言葉がどんどん増えて、笑顔いっぱいの松之木小になります。これからも、みんなで、想像力を働かせて、思いやりの心を育てていきましょう。

校長先生もみなさんに負けないように、想像力を働かせて、言葉かけをしていきます。

